

病院新設分印西市内へ250床を配分

いすみ鉄道で、堂本知事と対決



本会議場でこれまでの議員活動を振り返って質問する滝田敏幸県議

「ことができる」と発言しているが、千葉県知事が、いすみ鉄道の存続を政治的判断で決定することができるのか。

堂本知事 いすみ鉄道の存続か廃止かの問題は、地元首長と県総合企画部長をメンバーとする「再生会議」を設置し、二年に及ぶ協議の結果、全員の合意により二年間の検証期間を設け、いすみ鉄道の再生に取り組みることとしたものです。

今後とも、県と地元二市二町が力を合わせて、再生に取り組んでいきたいと考えております。

滝田議員 県内経済人からいすみ鉄道前社長への立候補の要請文の作成に当たって、知事が関与したとの話があるが、これは事実か。

堂本知事 立候補の要請については、県内経済人の方々が自らご判断されたものと認識しています。

滝田議員 新聞記事によると、いすみ鉄道の前社長は一月十五日に知事公舎で堂本知事に会い、知事から出馬要請を受け、「やらせてください」と即答したとあるが、それは事実か。

「新たな協議会」設置を提案

千葉ニュータウン事業

堂本知事 今年に入って、数回にわたっていろいろなところでお目にかかり、打診した事実はあります。二月五日には、知事執務室において、正式に出馬を要請させていただきました。

滝田議員 事業者である千葉県と都市再生機構に、地元市町並びに議会も参加した意見交換ができる場、すなわち協議会を新たに立ち上げるべきと思うが、どうか。

企業庁長 千葉ニュータウン事業については、これまでも地元市町と協議・調整を行いながら事業推進に努めてまいりました。

今後、地元市町の理解と協力を得ながら、事業を進めてまいります。



谷垣禎一・前国土交通大臣を訪ね要望する滝田県議

推進してまいります。が、「新たな協議会」の設置については、関係機関の意向も踏まえて対応してまいります。

印旛医療圏内への病床配分

滝田議員 現在、病院が一つもない印西市に病院が必要だと思うが、今回の病床配分では、印旛保健医療圏への配分はどうなったか。

健康福祉部長 昨年四月に策定した千葉県保健医療計画で、病床が不足している印旛保健医療圏内で、病床の整備を希望する事業者を募集したところ、病院の新規開設計画が三事業者から、既存病院での増床計画が三事業者から提出されました。

そこで、個々の計画について、(1)現保健医療計画期間である平成二十二年度ま

で整備または確実な着工が見込まれるかどうか(2)地域の中核となる医療施設の新設や救急救命医療、周産期医療など保健医療計画の整備方策との整合性が図られているかどうかなど、医療審議会病院部会に諮り、審議しました。

その結果、印旛保健医療圏内で、印西市内での病院新設計画に二百五十床を配分したほか、佐倉市内及び四街道市内に所在する三病院の増床計画に百三床、合わせて三百五十三床を配分したところです。

地元の
地域の
ため
のため
信念
を持って
たきた敏幸県議

2月県議会

一般質問